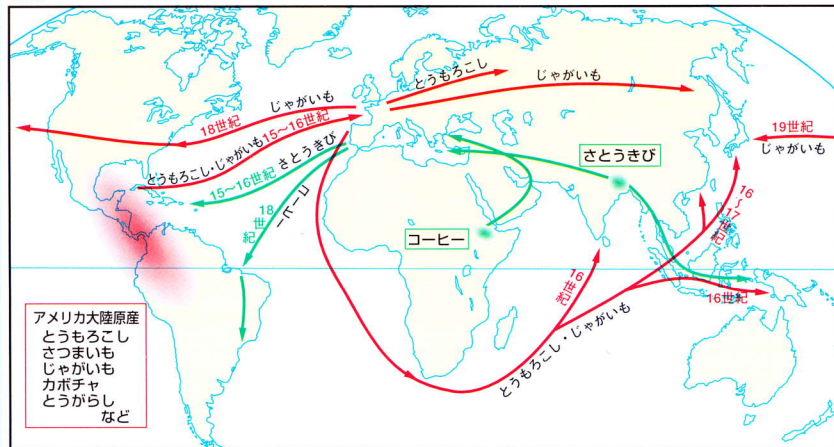


1 アメリカ大陸と産物の伝播



2 アメリカ大陸にもたらされたもの

- キリスト教
- 天然痘・麻疹・インフルエンザ
- 小麦・さとうきび・馬・牛・羊・コーヒー
- 車輪・鉄器
- (黒人奴隷)

👉**リオのカーニバル**(ブラジル)
征服者は剣で「軍事征服」し、修道士は聖書で「魂の征服」をした。リオのカーニバル(謝肉祭)には、キリスト教の祭りにインディオやアフリカの文化が融合している。



ラス=カサス(1474~1566 スペイン)

「新大陸発見」後のスペインは、エンコミエンダ制(17世紀以後はアシエンダ制)下で苛酷な搾取を行った。スペイン人聖職者ラス=カサスは「インディアスの破壊についての簡単な報告」を著し、虐待を非難した。その結果、インディオの奴隷化は禁止されたが、皮肉にもそれがアフリカからの黒人奴隷輸入を促す要因となった。

アンデス地方(インカ帝国)

メキシコ中央部(アステカ王国)

カリブ海地域(イスパノラ島)

38万人

300万人ともいわれる

1490

1500

1510

1520

1530

1540

1550

1560

1570

1580

1590

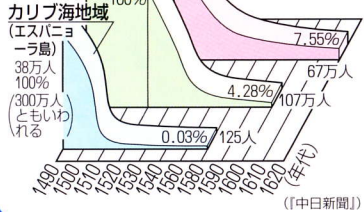
1600

1610

1620

●インディオの人口減少

急激な人口減少がよくわかる。



👉鉱山で働かされるインディオ



3 アメリカ大陸からもたらされたもの

梅毒(ハイチ島の風土病?) コロンブス一行が西欧にもち帰ったとされ、イタリア戦争やルネサンスの風紀の乱れの中でヨーロッパ全体に急速に広がった。東方へはガマの一行が1498年頃インドにもたらし、日本には1512年に伝来している。南方で活躍した倭寇によると考えられる。(P11写)

タバコ(煙草) 前1000年頃より神々への捧げ物として宗教的儀式に使用された。コロンブスにより西欧に伝来、初めは薬として使用された。(P9 1)

とうもろこし(玉蜀黍) 前2000年頃メキシコで栽培化。コロンブスにより西欧へ。日本へは16世紀後半伝来。玉蜀黍とは外国(蜀)から来た大粒の黍の意。家畜飼料やコーンスープ、ポップコーンとして食用される。

じゃがいも(馬鈴薯) アンデス高原が原産地。ジャワのジャコトラから伝来したのでジャガイモといわれ、中国の書物に出るつる植物の馬鈴薯に誤ってあてられた。18世紀には、アイルランドから東ヨーロッパにかけての国々の重要な食料となった。

さつまいも(薩摩薯) メキシコ原産。コロンブスにより伝来。琉球薯・唐薯ともいう。江戸時代青木昆陽が救荒作物として栽培して以来普及した。

カボチャ(南瓜) メキシコ原産。ポルトガル人がカンボジアから日本へ伝えた。

トマト(蕃茄) アンデス高原原産。16世紀初めにヨーロッパへ伝来。初めは観賞用として栽培された。

とうがらし(唐辛子) メキシコ原産。コロンブスにより伝来し、インド・東南アジア・日本・朝鮮へと伝わった。

カカオ 熱帯アメリカ原産。ヨーロッパに伝来し、18世紀にはココアやチョコレートとして上流階級の飲料となった。19世紀、アフリカでプランテーション栽培された。

七面鳥(turkey) メキシコ原産。16世紀スペイン人によりヨーロッパへ伝来。英語でターキー(トルコ)と呼び、クリスマスに食肉として用いる。



👉**ペルーのとうもろこし** アメリカ大陸で栽培植物となったとうもろこしは、古アメリカ文明を支えた穀物であり、現在でも大量に栽培されている。

👉**影響を受けた各国の料理** アメリカ大陸産の食物はヨーロッパやアジアに伝播・定着した。じゃがいもはドイツ、トマト(ケチャップ)はイタリア、とうがらしは韓国の料理にそれぞれ不可欠な食材である。

ドイツのじゃがいも料理 イタリアのトマトソース 大韓民国のキムチ



👉**17世紀前半の京都四条河原の歌舞伎見物客** タバコは南蛮人(スペイン人)により日本にもたらされ、キセルで吸われた。幕府の度重なる禁令も効果がなかった。

